日本共産党久喜市議団　No.142

市議団ニュース

連絡先
杉野　修　58−9010　渡辺昌代　21−9058
石田利春　52−7260　平間益美　23−9519
【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85−3】

2018年3月25日号

「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

修正案、意見書「公明党久喜市議団」「新生久喜」などの反対で否決に！

予算議会終わる

党市議団、市民の暮らし応援の修正予算を提案

1月31日に始まった2月定例会は、市長から38の議案が出され、本会議、各委員会審査が行われ、活発な市議会となりました。

最終日の3月5日には、党市議団が動議のうえ提出した、予算修正案などの質疑も行われました。

当初予算の修正案は、日本共産党久喜市議団として毎年提出しています。今回は、昨年実施した「市民アンケート」の中で、過半数の市民が「生活が苦しい」と訴えていることを踏まえ、財源も示しながら「市民生活応援の予算」を提案したものです。

残念ながら最大会派の「新生久喜」と「公明党」、「市民の政治を進める会」の反対により修正案は否決されました。

しかし、市民の負担軽減と暮らし応援めざして、これからも提案していきます。

修正案の内容です

①市民目線から見て、「不要な事業」は廃止すること。（マイナンバー関連予算）
②根拠法が失効した下でも出されていた同和対策費（一部団体への活動費など）は予算から削除する。
③３．１１大震災で被災した南栗橋地域の被災者全員に対し、再建支援金を届けること。
④制度開始以来、上がり続ける介護保険料を引き下げること。
⑤市民の住宅改修や商店のリニューアルを助成し、地域経済振興を進めること。
⑥学校給食費を「２子目は半額、３子目は無償」とする子育て支援を行うこと。
⑦市民合意もないのに、強引に進めようとする給食センターの建設は止めること
⑧学校給食は自校調理方式が最良との立場から、転換を進めるため、学校ごとに調査を行うこと。
⑨公民館は減免制度の適用で事実上の無料化を図り、市民活動を支援すること。
⑩県下でも高く、家計を圧迫している国保税、水道料金を引き下げること。

各議員の賛否

会派	議員氏名	修正予算	意見書
新政久喜	富澤孝至	×	×
	大谷和子	×	×
	平沢健一郎	×	×
	新井　兼	×	×
	宮﨑利造	×	×
	園部茂雄	×	×
	山田達雄	欠席	
	岸　輝美	×	×
	鈴木松蔵	×	×
	柿沼繁男	議長	
	並木隆一	×	×
	井上忠昭	×	×
	春山千明	×	×
	成田ルミ子	×	×
	貴志信智	×	×
公明党久喜市議団	岡崎克巳	×	×
	矢﨑　康	×	×
	戸ヶ﨑博	×	×
	斉藤広子	×	×
	丹野郁夫	×	×
日本共産党久喜市議団	杉野　修	○	○
	渡辺昌代	○	○
	石田利春	○	○
	平間益美	○	○
市民の政治を進める会	猪股和雄	×	○
	川辺美信	×	○
	田中　勝	×	○

「核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書」「新生久喜」「公明党市議団」なぜ「反対」？

核兵器禁止条約は国連加盟国の三分の二の122か国が賛成し議決されました。ヒバクシャの皆さんの勇気ある行動が実を結んだものです。

日本は世界で唯一の被爆国。日本の国民は、子どもから高齢者まで、核兵器の悲惨さ、残虐性を世界の中で一番わかっています。日本政府は締結しないとしていますが、むしろ核兵器禁止条約を締結し、北朝鮮に対して、核兵器の放棄を迫ってこそ説得力を持ちます。国連決議で、オーストラリアの代表は「核兵器が安全保障にとって有益なら、すべての国が核兵器を持てばより安全な世界になるということになる。核兵器はない方が世界にとって一番安全なのだ」と述べています。

この立場で久喜市議会が、政府に対し条約署名を求めるべきです。この意見書が否決されたことは残念です。

国連本部ビル

共産党４議員、市民が第一に転換を主張

杉野おさむ

桜田３丁目７番１－５０４

市民の暮らし優先の修正予算提出するも否決！

共産党議員団は、あきらめずに市民のみなさんと声を上げ続けていきます。

※合併してから田中市政は、国保税、水道料金、下水道料金、など公共料金の値上げで、市民負担増を押し付けてきました。これにキッパリ反対したのは、日本共産党の４名だけでした。

東鷲宮駅地下道の改修を

「交通弱者には不便で使えない駅をもっと便利な駅に」の声を受けて一貫して提案してきました。ようやく「西側部分を30年度に工事着手する」と答弁を引き出しました。

大雨冠水対策の推進を

大雨のたびに冠水被害が出る久喜市。30か所以上ある被害か所のうち、改善計画が作成されているのは、わずか4か所だけ、改善が始まったのは1か所だけ。被害か所すべての改善計画を早急に策定すべきです。

総合支所は弱体化させるな

支所の職員削減が続きます。建設課廃止、納税相談も廃止、この春から包括支援関係職員も社協に業務委託します。

この削減で、大雨の道路冠水個所に「通行止め」の札も立てられません。サービスの低下です。

平間ますみ

本町８－４－１

実現したエアコンの設置

４年前、取り組んだのが、多くの児童生徒、そして保護者の方々が望み、署名活動などを進めてきた「全ての小中学校にエアコンの設置」でした。いつの間にか、「あ！エアコンのおじさんだ。おじさんエアコンをつけてね」と子供たちに声をかけてもらいました。運動の大きな励みになりました。市民の皆さんの声と、日本共産党の運動が合いまって、ついに市政を動かしました。２年前の夏に設置された時は、近所の子供たちが「ありがとう」の言葉をかけてくれました。

入学準備金の入学前支給実現

経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者には、学用品費などを支給する就学援助制度があります。

その制度の中の一つに、入学準備金があり、ランドセル、制服などを買います。しかし、支給が７月でした。入学前の２月・３月に支給してほしい、何度も議会で要望しました。この運動のかいがあって、実現しました。支給金額も２倍になり、久喜市では２月７日に支給されました。これからも、住宅リフォーム助成制度、子供の医療費18歳までの無料化、デマンド交通の拡充など、多くの要望に取り組んでいきます。

渡辺まさよ

所久喜７０５－３

子育て支援の強化に取り組む

・子ども医療費の無料化拡充を、高校卒業まで求めています。
・特定検診の期間延長を求め実現しました。
・市立幼稚園の３歳児保育、延長保育の実施を求め実現しました。

東京理科大跡地に巨大物流センター建設を許さない思いで取り組む

・跡地全ての買取りを検討すべきと提案して来ました。
・住居系土地のど真ん中に巨大倉庫は無謀、１企業のための都市計画変更に反対しました。
・何より理科大誘致の際に協力して来た市民の理解なしで進めることに反対して来ました。

建設が進む中、住環境悪化をさせない騒音対策の強化。信号機の設置や歩道の整備を進め、通学路の安全対策を万全にすることを求めています。

介護保険料

基準で１６００円の値上げに反対

国の負担率はそのままに65歳以上の人が増えたからと、高齢者のみ負担率を上げることは許せません。

高い国保税は引き下げを

国保税が高い一番の理由は国の負担を下げたこと。県内で高い位置にある国保税は久喜市の努力で引き下げるべきです。

石田としはる

栗橋東５－７－２

東日本大震災から7年、これまで液状化で被災を受けた方によりそい支援を求めてきました

・国会議員とも連携し、国の支援策が適用されました。
・半壊、一部損壊の方へ久喜市独自の支援策実現。
・固定資産税減免の実施と延長を求め平成29年度まで実施。
・ポンプアップ費用は市の負担で実施しました。

液状化対策の効果はこれから

地下水位低下工法、効果が出るのはこれからです。今後不動沈下の可能性もあり、モニタリングの実施と保障を求めます。冠水が増す可能性があり、対策強化を本気で求めて行きます。

済生会栗橋病院現地存続を求めて

加須市への移転は、今後1年以上かけ調査し中央本部が最終決定。移転はまだ決定していません。久喜市は信頼関係を築き、急性期部門存続に向け支援策を示すべきです。

運営補助金４７００万円を打ち切る

市は、栗橋病院に支援していた運営補助金を今年度は打ち切りました。信頼関係を自ら壊すもので反対です。支援は継続すべきです。

学校給食

自校方式の継続と無償化を求める

１万筆以上が添えられた請願に、新政久喜や公明党は反対しました。自校給食の実現は可能で対案を示し実施を求めています。

給食費無料化を求め予算修正案提出

第２子半額、第３子は無料に、７００万円で実施できます。